

地域ケアに係る先進事例について

平成20年10月31日

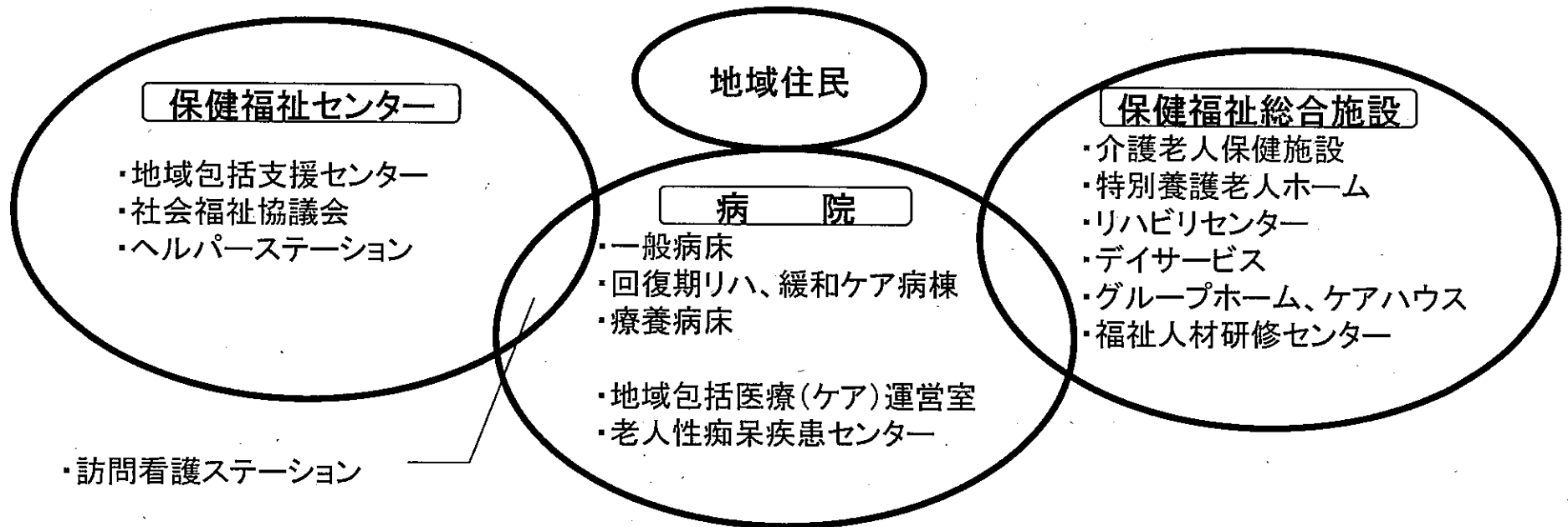
奈良県地域医療等対策協議会

健康長寿部会

『みつぎ総合病院を中心とした地域包括医療・ケアの実践と
地域包括ケアシステムの病院づくり』(広島県尾道市)

人口	150,488人
高齢者数	43,444人
高齢化率	28.9%
要介護認定者数	8,482人
認定率	19.5%

※旧御調郡御調町は平成17年3月に尾道市に編入合併
(合併前 人口 8,111人 高齢化率30.2%)



- 地域包括医療とは「地域に包括医療を、社会的要因を配慮しつつ継続して実践し、住民のQOLの向上をめざすものであり、包括医療・ケアとは治療(キュア)のみならず保健サービス(健康づくり)、在宅ケア、リハビリテーション、福祉・介護サービスのすべてを含有するもので、施設ケアと在宅ケアとの連携及び住民参加のもとに生活・ノーマライゼーションを視野に入れた全人的医療・ケアであると位置づけている。
- 「地域とは単なるAreaではなくCommunityを指す」と定義づけている。
- 地域包括ケアシステムのハードが総合保健施設(公立みつぎ総合病院保健福祉総合施設)群であり、ソフトが健康づくり、在宅ケア、リハビリテーション、寝たきりゼロ作戦、福祉・介護、住民参加等。

『佐久病院における地域ケア活動』(長野県佐久市)

人口	101,077人
高齢者数	25,012人
高齢化率	24.8%
要介護認定者数	4,062人
認定率	16.2%

佐久病院の概況

- ・ 昭和19年に20床の診療所として創立
- ・ 現在は821床(美里分院120床、小梅分院99床を合わせると1,040床)
- ・ 他に佐久老健94床、老健こうみ59床)
- ・ 職員数は1,814名の地域の基幹病院

地域ケア活動の基本理念

～障害をもっても住み慣れた地域で
安心して暮らせるために～

- ・ モットー「いつでも、どこでも、だれでも、
必要なサービスが受けられる」
- ・ 対象者 「介護を必要とする人とその介護者」
- ・ 地域ケア科の活動の柱
「生命(いのち)を守る援助＝在宅医療」
「生活(くらし)を守る援助＝在宅福祉」

活動のスタイル

- 訪問診療、緊急往診、専門科往診、専門科訪問診療
 - ・ 17名の医師(内科、総合診療科、精神科、地域健康管理課、研修医など)がチームを組み、地域ケア科看護師のマネジメントで訪問診療を実施。
 - ・ 時間外は、医師1名と看護師1が拘束体制を取り、急変時の対応を実施。(24時間、365日)
- 5ヶ所の訪問看護ステーションと1出張所を地域のサテライトとして、地域に密着した訪問看護を提供。
- 6ヶ所の居宅介護支援事業所で23名のケアマネを配置。
- 佐久市より地域包括支援センターの運営を委託。
- 平成16年に宅老所を運営。
- 平成19年より訪問リハビリを開始。
- 多職種の参画により、専門性の高い援助を在宅のチームとして実施。